

## 基礎分野 13科目 13単位 (360時間)

看護の対象である人間、生命、人間を取り巻く環境に関する理解を深め、物事の本質を洞察し、倫理的な判断に基づき生活上の問題を解決できる力を養う。そして個人および家族も含めた個人の所属する集団の特性を理解し、人間のよりよいあり方を追求する姿勢を養う。

### 科学的思考の基盤

科目名	哲学 Phylosophy		講師名・ 実務経験	豊岡 めぐみ・哲学者
講義時期	3年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	3年次10～11月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	看護は人間関係を基盤としており、また人の生死に関わるものである。常に人とは、看護とは、と自分の考えを追求していくための哲学的思考を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人の存在、人はいかに生きるべきかという問いを根底にもちながら、ものの本質、真実性の知を愛し求めていくことにより、自身のあり方を考える姿勢を身につける。</li> <li>2. 価値観・人生観・死生観・看護観を迫及する思考を習慣化できる。</li> </ol>			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 哲学とは何か-物の本質とは何か？</li> <li>2. 生命倫理の諸問題-脳死と臓器移植、クローン、人口妊娠中絶、多胎妊娠</li> <li>3. 功利主義-われわれは何を選択すべきか？(行為における選択)</li> <li>4. 人間とは何か-わたしとは何者か？ 自分のことであるにもかかわらず、つきつめていくとわたしは一体何者なのかわからなくなるはずである。その理由を解明しながら、わたしについて、また他者について議論する。最終的に人間とはいかなるものかを総合的に吟味する。</li> <li>5. 私と患者-患者との関係を考えてみよう</li> <li>6. 精神と身体-西洋的なものの見方と東洋的なものの見方の差異について</li> <li>7. 愛について-恋愛を哲学的に考える</li> <li>8. 生と死-映画鑑賞をしながら安楽死問題を考える</li> <li>9. 雑誌分析-雑誌はどのようにつくられるのか？ 雑誌、テレビ、ラジオなどメディアの意図とイデオロギーについて考える</li> </ol>			
講義内容	1回目	イントロダクション:「哲学する」とはどのようなことか		
	2回目	本質について考察する(ソクラテスの思想を解説)		
	3回目	「知る」とはどのようなことか(プラトンの思考を解説)		
	4回目	人間のあり方について(プラトン哲学をモデルとして考察)		
	5回目	行為における真とは何かについて(アリストテレス哲学をモデルとして考察)		
	6回目	先入観と日常について(映画マトリックスをモデルとして考察)		
	7回目	健康と障がいについて		
	8回目	幸せについて(エピクロス思想を中心に)		
	9回目	自由について(ストア派思想を中心に)		
	10回目	安楽死について、欲望について		
	11回目	心と身体について		
	12回目	行為における「正しさ」について		
	13回目	功利主義について(1)		
	14回目	功利主義について(2)(快樂計算について考察)		
	15回目	イデオロギーについて		

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	文章表現法 Writing Method		講師名・ 実務経験	鎌倉 芳信・国語教諭
講義時期	2年後期	講義時期	15回	1単位(30)
		講義方法	講義	
試験予定	2年次12月～1月			
評価方法	筆記試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	日本語表現&コミュニケーション ～社会を生きるための21ワーク～(実教出版)			
講義のねらい	看護の質の維持向上において、自己の考えを文章化する能力は非常に重要になる。基本的な読むこと、書くことの技術を学ぶ。そこから、論理的な思考の上に成り立つ文章構成能力を養う。			
学習目標	1. 具体的・実践的な文章作成について学び、論理的かつ正確な文章を書くことができる。 2. 言語を正しく理解し使用することが、他者との人間関係の構築に不可欠であることを理解できる。			
講義概要	1. 基本的な文章表現力を身につける 1) 適切な漢字、ひらがなの使い方 2) 効果的な句読点の使い方 3) 和語・漢語・外来語の使い分け 4) 話し言葉と書く言葉 5) さまざまな表現(慣用句、ことわざ) 6) 敬語の使い方 7) 手紙の書き方 8) わかりやすく伝えるための理論や方法			
講義内容	1回目	講義方針及び内容の説明		
	2回目	日本語の特徴		
	3回目	分の構成		
	4回目	仮名・漢字・カタカナ語の使用		
	5回目	語の使い分け		
	6回目	語彙について		
	7回目	推敲		
	8回目	言い方を変える		
	9回目	話し言葉・書き言葉		
	10回目	描写の方法		
	11回目	客観的な描写		
	12回目	わかりやすい表現		
	13回目	報告文の書き方		
	14回目	様々な種類の文章		
	15回目	ビジネス文章の書き方及び試験		

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	情報科学 Informasion Science		講師名・ 実務経験	徳永 治久・情報管理室課長
講義時期	1年通年	講義時期	15回	1単位(30)
		講義方法	講義・演習	
試験予定	1年次12月			
評価方法	課題に対するパソコンを使用した実技試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	現代教育学入門(勁草書房)			
講義のねらい	情報科学の基礎理論やコンピュータに関する基礎的知識を理解し、高度情報化社会の医療、看護に対応できる力を養う。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パソコンの基本的な操作ができる。</li> <li>2. Word、Excel、PowerPointの操作ができる。</li> <li>3. インターネットを活用し、必要な情報を得ることができる。</li> <li>4. 情報の取り扱い方や統計学的処理方法の基礎を理解できる。</li> <li>5. 医療現場におけるコンピューター導入の変遷と情報の管理、倫理について理解できる。</li> </ol>			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パソコンの基礎知識 起動の仕方 ゲームを通してマウスに慣れる</li> <li>2. ワードプロの基礎 Windows word使用 文書作成・保存・印刷・罫線や図の挿入</li> <li>3. 文書の印刷</li> <li>4. 表計算(関数・罫線処理)</li> <li>5. パワーポイントの活用・作成方法</li> <li>6. 医療現場で使用されるコンピュータシステムの基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歴史・システムの種類と特徴</li> <li>2) 看護業務とコンピュータ</li> </ol> </li> <li>7. 業務でのコンピュータ使用時の注意点 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 情報の活用</li> <li>2) インターネットの活用</li> <li>3) 電子メールの活用</li> </ol> </li> </ol> <p>*6, 7に関しては、単位認定を受けた学生も聴講してください。 具体的な聴講の方法については、授業開始後連絡します。</p>			
講義内容	1回目	病院情報システム①(歴史・構成・仕組み)		
	2回目	病院情報システム②(看護システム・実習)		
	3回目	パソコンの基礎知識		
	4回目	インターネットの基礎知識		
	5回目	ワードプロ(ワード)実習①基本		
	6回目	ワードプロ(ワード)実習②基本		
	7回目	ワードプロ(ワード)実習③応用		
	8回目	ワードプロ(ワード)実習④応用		
	9回目	プレゼンテーション(パワーポイント)実習		
	10回目	表計算(エクセル)実習①基本		
	11回目	表計算(エクセル)実習②基本		
	12回目	表計算(エクセル)実習③応用		
	13回目	表計算(エクセル)実習④応用		
	14回目	表計算(エクセル)実習⑤応用		
	15回目	試験		

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	心理学 Psychology		講師名・ 実務経験	山田 文・臨床心理士
講義時期	1年前期	講義時期	8回	
		講義方法	講義	単位・時間数
				1単位(15)
試験方法	1年次7月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	医療・看護の場で人との関わりを持つ際には、人の心や行動について理解することが求められる。本講義は、心理学の知見を学ぶことを通して、人の心と行動、および自分自身の心についての理解を深める事を目的とする。			
学習目標	1. 医療・看護の対象である人間の心について理解を深める。 2. 心の仕組みとはたらき、心の発達、心の適応に関する心理学の基礎的な知見を理解する。			
講義概要	1	感覚と知覚の心理		
	2	記憶の心理		
	3	学習の心理		
	4	発達の心理		
	5	人格の心理		
	6	適応の心理		
	7	医療と心理学		
講義内容	1回目	知覚と感覚に関する心理学		
	2回目	記憶の心理学		
	3回目	学習の心理学		
	4回目	発達の心理学		
	5回目	人格の心理学		
	6回目	適応の心理学		
	7回目	医療と心理学		

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	人間関係論 Social Psychology		講師名・ 実務経験	栗田 七重・臨床心理士
講義時期	2年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義・演習	
試験予定	2年次12月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	看護は人間関係を基盤とする。看護のみならず日常の人間関係において、この科目で学んだ内容が活かせることをねらいとする。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の存在が他者の存在と無関係に成り立つものでないことを理解できる。</li> <li>2. 人間関係の基礎や看護における人間関係について理解できる。</li> <li>3. 看護者としてのカウンセリングの意義、役割について学ぶ。</li> </ol>			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間存在と人間関係</li> <li>2. コミュニケーションとは</li> <li>3. 人間理解に関する研究と応用 <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会心理学的研究</li> <li>②集団の中での行動パターン</li> </ol> </li> <li>4. カウンセリング</li> <li>5. 保健医療チームの人間関係 <ol style="list-style-type: none"> <li>①保健医療チームの特徴</li> <li>②チームワークを促進する要因と阻害する要因</li> </ol> </li> <li>6. 闘病生活を支える人間関係 <p>◎講義の合間に、自己・他者理解を深めるようなワークを取り入れていく予定です。</p> </li> </ol>			
講義内容	1回目	オリエンテーション／人間関係とは、自己紹介		
	2回目	自己と他者の理解①		
	3回目	自己と他者の理解②		
	4回目	欲求の理論とストレス、ストレスマネジメント		
	5回目	ストレス・コーピング、社会心理学的研究①		
	6回目	社会心理学的研究② ・チーム・エラーチームワーク①		
	7.8回目	社会心理学的研究② ・ポジティブ心理学		
	9.10回目	コミュニケーション&カウンセリング1		
	11.12回目	コミュニケーション&カウンセリング2、認知、アサーション、面接、スキル		
	13回目	闘病生活を支える人間関係①		
	14回目	闘病生活を支える人間関係②		
	15回目	人間関係論 まとめ		

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	教育学 Pedagogy		講師名・ 実務経験	小澤 周三・教育学者
講義時期	1年後期	講義時期	15回目	
		講義方法	講義	単位・時間数
				1単位(30)
試験方法	1年次9月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	現代教育学入門(勁草書房)			
講義のねらい	人間にとっての教育の意義を理解し、看護の専門職者として日々学び続けることの重要性を認識できるようにする。また、教育学習心理や一般的な教育方法を学ぶことで、看護における指導技術が更に科学的根拠の上に展開できる素地を養う。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の原理が理解できる。</li> <li>2. 人間形成における教育の意義や、社会の変化の中で果たすべき教育の役割・機能について理解できる。</li> <li>3. 学習心理を踏まえた教育方法を理解し、看護の対象への効果的な指導技術の基礎的知識を身につけることができる。</li> </ol>			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護と教育</li> <li>2. 教育の基本構造</li> <li>3. 人間理解</li> <li>4. 医療者の教化と形成</li> <li>5. 教育の思想について</li> <li>6. 看護倫理と法律について</li> <li>7. 教育の社会的基礎(発達課題、発達達成に関わる諸問題、遊びのもつ意義)</li> <li>8. 児童虐待</li> <li>9. アントロポソフィア医学</li> <li>10. 学校教育法について</li> </ol>			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1回目 教育の意義、教育の基本構造</li> <li>2回目 文化伝承(価値、言語、理想、規範、食文化、日本人の体質)</li> <li>3回目 教育と看護、VTR『看護は心の対話』</li> <li>4回目 古代ギリシアの教育思想 (ヒポクラテス、ソクラテス、プラトン他)</li> <li>5回目 古代ギリシア・ローマの教育思想 (プラトンの学園、アカデメイア他)</li> <li>6回目 古代ギリシア・ローマの教育思想 (VTR『ギリシア、ローマの文明』)</li> <li>7回目 中世ヨーロッパの教育思想</li> <li>8回目 中世ヨーロッパの教育思想、ルネッサンスの一部</li> <li>9回目 ルネッサンス期の教育思想</li> <li>10回目 宗教改革期の教育思想</li> <li>11回目 近世ヨーロッパの教育思想</li> <li>12回目 近代英・米の教育思想</li> <li>13回目 教育制度概説(看護師による教育を含む)</li> <li>14回目 今日の教育(リカレント教育、ヴァウチャーを含む)</li> <li>15回目 課題レポート作成 ※ ビデオを通して考える時間があります。 講義時間の中でレポートを作成することがあります。</li> </ol>			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	社会学 Sociology		講師名・ 実務経験	成田 恭隆・社会学者
講義時期	3年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	3年次11月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	永井 良和編 基礎社会学 第4版 世界思想社			
講義のねらい	社会に起こっている事象に対し興味・関心を抱き、様々な角度から考える素地とする。			
学習目標	<p>1. 人間の社会構造や、社会的な人間行動、家族の機能・構造、高齢化という現象を統合的に分析し理解する姿勢を養うことができる。</p> <p>2. 人間と社会との相互関係を理解し、起こっている現象をありのままに見つめる社会的な視点を身につけることができる。</p>			
講義概要	<p>1. 社会学とは、社会事象と社会学</p> <p>2. 集団の発生について</p> <p>3. 社会集団と組織集団について</p> <p>4. 家族について 家族の社会学的定義</p> <p>5. 都市について 地域社会について</p> <p>6. 生活の中の「労働」</p> <p>7. 社会福祉と社会</p>			
講義内容	<p>1回目 社会学とは何か</p> <p>2回目 意味と相互主観性</p> <p>3回目 アイデンティティ、スティグマ正常と異常</p> <p>4・5回目 正常と異常Ⅱ、予言の自己成就、社会構築主義</p> <p>6・7回目 社会構築主義、ジェンダー規範と制度</p> <p>8・9回目 規範と制度Ⅱコミュニケーションの自己</p> <p>10回目 共同体(家族、地域社会)</p> <p>11回目 共同体(産業構築、ゲマインシャフト、ゲゼルシャフト)</p> <p>12回目 国家と市民社会、移民と国家</p> <p>13回目 グローバル化と公共国</p> <p>14回目 近代民主主義の限界、公共国－新しい民主主義</p> <p>15回目 試験</p>			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	生物学 Biology		講師名・ 実務経験	神田 尚俊・医師
講義時期	1年次前期	講義時期	15回	1単位(30)
		講義方法	講義	
試験予定	1年次9月			
評価方法	小テスト(10%)、課題評価(10%)、筆記試験80%。60点以上を合格とする。			
参考書	系統看護学講座「生物学」(医学書院)			
講義のねらい	生物界には進化によって誕生した多様な生物種が存在し、ヒトを含めてその基本的構造や機能には共通点があり、一部の生物はヒトの病気の原因となる。この授業では生物の細胞の基本的構造と機能で学び、生命の仕組みを理解する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の基本構造とその集合体である固体の構造と機能を理解する。</li> <li>2. 遺伝子の機能と遺伝の仕組みを理解する。</li> <li>3. 遺伝子レベルでみた生命の進化とその意味について理解する。</li> <li>4. 受精卵が細胞分裂により固体を形成する発生過程を理解する。</li> <li>5. 個体内部の恒常性構造と調節の仕組みを理解する。</li> <li>6. 神経系やホルモンを介した刺激の情報伝達の仕組みを理解する。</li> </ol>			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物学で何を学ぶか</li> <li>2. 生命の誕生とその進化</li> <li>3. 細胞の進化とその構造と機能</li> <li>4. 脊椎動物の体の構造とその機能</li> <li>5. 生殖と発生: 有性生殖と無性生殖、個体発生</li> <li>6. 細胞分裂: 体細胞分裂と減数分裂、染色体と染色体異常</li> <li>7. 遺伝と遺伝子 ①メンデルの遺伝法則、遺伝情報</li> <li>8. 遺伝と遺伝子 ②突然変異、分子遺伝学と遺伝病</li> <li>9. 分子生物学: その手法と成果(生命が分子レベルでどこまで明らかになったか)</li> <li>10. 個体の調節 ①消化器、循環器、免疫系</li> <li>11. 個体の調整 ②排泄器官、ホメオスタシスを維持する器官</li> <li>12. 刺激の伝達と行動 ①刺激の種類と受容器</li> <li>13. 刺激の伝達と行動 ②神経系と効果音、行動</li> <li>14. 生物と環境: 環境変化と生物、地球環境とその未来</li> </ol>			
講義内容	1回目	生物学で何を学ぶか		
	2回目	細胞の構造と機能(1)細胞膜		
	3回目	細胞の構造と機能(2)細胞 器官、半透膜		
	4回目	生体維持のエネルギー		
	5回目	細胞分裂: 体細胞分裂と減数分裂		
	6回目	遺伝: 遺伝の法則と染色体		
	7回目	ケツムと遺伝子		
	8回目	遺伝子の変異と遺伝子操作		
	9回目	発生と分化		
	10回目	個体の調節①(ホメオスタシスと各種臓器)		
	11回目	個体の調節②(循環器・泌尿器系)		
	12回目	個体の調節③(感覚器)		
	13回目	個体の調節④(免疫系)		
	14回目	地球環境の変化・生物生態系の変化		
	15回目	試験		



基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語 I (基礎英語)		講師名・ 実務経験	丸山 理佳子・通訳業
講義時期	1年前期	講義時期	15回	1単位(30)
		講義方法	講義	
試験予定	1年次12月			
評価方法	筆記試験(100%)、60点以上を合格とする			
参考書	現場ですぐに役立つ！実践メディカル英会話(メディカ出版)			
講義のねらい	社会や看護の国際化に対応するための基本的な英語力を、身近な英語を通して身につける。			
学習目標	1. 基礎的な英語文献を読むことができる。 2. 英語の基礎力を伸ばす。			
講義概要	日常生活や日常会話を中心としたテキストを用いて英文和訳、reading			
講義内容	1回目	総合案内で使える英会話		
	2回目	受付で使える英会話① (人、職名、書類)		
	3回目	受付で使える英会話② (健康保険証の確認、医療費の払い戻しの説明)		
	4回目	現病歴聴取のための英会話① (身体各部の名称、代表的な症状の尋ね方)		
	5回目	現病歴聴取のための英会話② (症状の尋ね方、現病歴の尋ね方)		
	6回目	健康歴聴取のための英会話 (健康歴の尋ね方、主な病名)		
	7回目	診察室で使える英会話 (診察室・処置室の指示表現、医療機器と用品)		
	8回目	検査で使える英会話① (尿検査、体温測定の説明)		
	9回目	検査で使える英会話② (X線検査の説明、病院内の施設、病院内での迷子)		
	10回目	手続きで使える英会話① (次回受診日の確認、入院の手続き)		
	11回目	会計で使える英会話 (診療費の伝え方)		
	12回目	薬の説明、投薬時に使える英会話① (内服薬・外用薬の説明)		
	13回目	薬の説明、投薬時に使える英会話② (副作用の説明、薬に関する会話)		
	14回目	一般的な英会話 (訪問時の会話、電話対応、道案内)		
	15回目	試験		

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語Ⅱ(医学英語)		講師名・ 実務経験	溝尾 朗・医師
講義時期	2年通年	講義時期	15回	1単位(30)
		講義方法	講義	
試験予定	2年次12月			
評価方法	筆記試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	Medical English Clinic (センゲージラーニング株式会社)			
講義のねらい	社会や看護の国際化に対応するために、基礎的英語に加え、医学・看護英語能力を身につけ、実習において活用できることをねらいとする。			
学習目標	1. 身体表現、疾患に関する単語・薬・検査など医療に関する英単語を理解できる。 2. 医学所見、診断、治療に関する英単語、略語を理解できる。			
講義概要	1. カルテに記載される英単語・略語 代表的な疾患名、症状に関連した英単語・略語 2. 医療英語を中心としたテキストを用いて英文和訳、reading			
講義内容	1回目 英語問診表 2回目 海外生活について 3回目 インフルエンザについて 4回目 高齢社会への対応 5回目 摂食障害について 6回目 化学物質とタバコの害について 7回目 OTC、東南アジアの医療事情 8回目 OTC、メタボリック症候群 9回目 栄養、小テスト 10回目 散歩の効用 11回目 入院の方法 12回目 アルコール中毒、性感染症 13回目 超音波検査、災害時の感染症 14回目 小テスト、旅行感染症、高齢社会 15回目 試験 ※ 小テストをすることがあります。			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語Ⅲ(看護英語)		講師名・ 実務経験	芳賀 左代子・通訳業
講義時期	3年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	3年次11月			
評価方法	筆記試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	系統看護学講座 臨床看護英語 第5版 (医学書院)			
講義のねらい	1. 専門領域の医学、看護の外国文献を読むことで、海外の医療情勢にも興味をもつ 2. 看護のあらゆる状況に応じた会話の実際を学び、看護に関する英会話能力を身につけ、国際化する医療に積極的に参画できる力を養う。			
学習目標	1. 看護英会話に必要な専門語彙や表現を理解できる。 2. 想定した、患者へ主訴や症状を尋ねることができる。 3. 患者と対話ができる看護英語を修得できる。			
講義概要	回数・プログラム		宿題	5分間練習
	1. オリエンテーション/how to prevent infection. 2. Phonics/発音記号/発音記号の読み方		発話練習	発話練習
	3. 看護英単語/発話練習/Parts of the body. 4. 発話練習/看護英単語/Personal History.		単語暗記	単語暗唱/チェック
	5. 看護英会話/Vital Sign and Physical Exam/Test(検査) 6. 看護英会話/Pains,英文解釈/痛み 7. 英文解釈/リハビリテーション(身体で学ぶ英語)		センテンス暗記	会話暗唱/チェック
	8. 英文解釈/Sudden Infant Death Syndrome/ SIDS(乳児突然死症候群) 9. 英文解釈/Breast Cancer(乳がん) 10.英文解釈/Osteoporosis(骨粗しょう症) 11.英文解釈/Life-Style Related Disease(生活習慣病) 12.英文解釈/Depression(うつ病) 13.英文解釈/総復習		英文訳/理解 医学英語暗記	読解力/チェック
	14.HALLOWEEN/Tea Party : Alice in the wonderland.			
講義内容	1・2回目 (Admission From) Lesson1・2Check in.Personal History 3・4回目 Lesson1.Clinical Department、Lesson4 Daily Activites 5回目 Lesson7.Vital Signs and Physical Assessment 6回目 Lesson8.The Human Body (internal)、Lesson5 Pain 7回目 Lesson5 Clinical History(common illness) 8回目 Lesson11 Lab & Test (urine & blood sample)、Lesson12 9回目 Respiratory System 10回目 depression vital signs 11回目 Urinary system 12回目 Case Study、how to write a report 13回目 Review 21～、試験対策 14回目 Tea Party ! Would you like some tea? 15回目 試験			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	保健体育	Health and Physical Education	講師名・ 実務経験	今野 廣隆
講義時期	1年通年	講義時期	15回	
		講義方法	実技	単位・時間数
試験予定	1年次12月			
評価方法	出席状況、授業参加状況を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格			
参考書	なし			
講義のねらい	スポーツを通して健康の維持増進ができる。また、協調性を養い、心身の安定を目指すことをねらいとする。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の基礎体力を知る。</li> <li>2. スポーツを通して仲間との協力を図り、集団での規律ある行動がとれる。</li> <li>3. 健康への意識を高めることができる。</li> </ol>			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体力測定</li> <li>2. ストレッチ、マラソン、ウォーキング</li> <li>3. バレーボール、ユニホック、バトミントン、卓球</li> </ol>			
講義内容	1回目	ガイダンス(健康チェック、ストレッチング、ウォーミングアップ)		
	2回目	体力テスト、判定、ストレッチング体操		
	3回目	ストレッチング、ウォーキング		
	4・5回目	皇居5km全員完走		
	6回目	ストレッチング、縄跳び、ユニホック		
	7回目	ストレッチング、縄跳び、ユニホック		
	8回目	各班でストレッチング、ユニホック		
	9回目	ユニホック		
	10回目	卓球、ルール説明、ゲームの進め方		
	11回目	卓球、ダブルゲーム		
	12回目	テーブルテニス、ダブルゲーム・リーグ戦		
	13回目	ウォーキング		
	14回目	卓球、シングルダブル・リーグ戦		
	15回目	卓球、ダブルゲーム		
		※ 運動ができる服装、履物が必要です。		

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	音楽 Music		講師名・ 実務経験	丸山 ゆかり・ピアニスト
講義時期	1年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義・実技	
試験予定	1年次2月			
評価方法	授業参加状況により評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	音楽を通して、豊かな感性、協調性を養う。			
学習目標	1. 実習でレクリエーション活動、学校行事等で音楽を活用できる。			
講義概要	1. 校歌、合唱 2. ハンドベル、リズムワーク等			
講義内容	<p>1回目 授業内容説明(音取り、歌詞説明①)                  2回目 校歌、信仰(音取り、歌詞説明②)                  3回目 パート決め(音取り、歌詞説明③ etc.)                  4回目 パート別音取り、6/8リズム                  5回目 思い出し、全曲、etc.                  6回目 パート別練習、テキスト書き出し(山場)                  7回目 パート別 どこが特に難しいか、etc.                  8回目 難所抜き出し、練習、etc.                  9回目 まとめ                  10回目 復習(暗譜)                  11回目 戴帽式用まとめ                  12回目 唱歌(高齢者対応)、復習                  13回目 唱歌etc.(高齢者対応)、音楽の三要素とプラスアルファ                  14回目 3学年合同、1年生ペーパーテスト                  15回目 1・3年合同、まとめ</p> <p>※ 1回の講義時間は1/2コマ(45分間)です。場所は4階講堂です。 卒業式前は、数回他学年と合同で授業を行います。</p>			